〔科目名〕 経済演習 I	〔単位数〕 2 単位	〔科目区分〕 演習科目				
〔担当者〕 橋本 悟		〔授業の方法〕 演習				
〔演習テーマ〕 問題解決学習						
〔演習内容〕 経済学の基本的知識の習得とデータ集計・加工の手法を身につける。次に、課題を見つけ、その課題に対して定量的・定性的分析を行って、解決策を提示する。具体的には以下の順で学習する。 ・政府や地方自治体の HP などから適切な資料や統計データを入手する。 ・そのデータを集計・加工(図表作成や簡単な計算)して特徴を見つけ出す。必要ならば分析をする。 ・特徴や分析結果を考察して、問題点等を見出す。それをプレゼンテーションする。 なお、発表、質疑応答の機会をなるべく多くとって、人前で話したり議論したりする能力をしっかりと身につける予定である。 データの加工、発表等は 2 人組のグループで行う予定である。						
〔科目の到達目標〕 1) ミクロ経済学・産業組織論の知識を身につけること。 2) 経済学的な視点から物事を考えること、経済現象の背景が説明できるようになること。 3) 調査・研究能力を身につけて、簡単な定量分析ができるようになること。 4) プレゼンテーションが上手になること。						
〔ディプロマ・ポリシー (DP) との関係〕						
学部				学科		
DP1 ○	DP2	DP3	DP4 ○	DP1	DP2 ○	DP3 ○
〔前提条件〕 ミクロ経済学・マクロ経済学の基本的知識						
〔学修の課題、評価の方法〕(テスト、レポート等) 授業への貢献度・積極性などを総合的に考慮して決める。						
〔教科書等〕 (教科書) なし。 (参考書) 必要に応じて以下の参考書を使ってほしい。 1) 青木玲子・大橋弘監訳『企業と経済学』日本評論社、2023 (原著:Luis M. B. Cabral, Introduction to Industrial Organization (Second Edition), The MIT Press, 2017) 2) 長岡貞男・平尾由紀子『産業組織の経済学』日本評論社、1998 3) 井手秀樹・鳥居昭夫・竹中康治『入門・産業組織』有斐閣、2010 4) ネリス・パーカー『ビジネス・エコノミクス原理(第2版)』(訳岩本・小野)ピアソンエドケーション、2009 5) David M. Kreps, Microeconomics for Managers (Second Edition), Princeton University Press, 2019						
〔実務経歴〕 なし。						

授業スケジュール	
時期	テーマと内容
第1回	ガイダンス、自己紹介、今後の予定 経済学の復習
第2回	(講義形式) プレゼンテーションの方法 スライドの作成方法
第3回 第4回 第5回	(PC ルーム) データの取り方・加工についての学習 エクセルの使い方の学習
第6回 から 第15回	グループごとにデータを使って分析を行い、その結果を報告(発表)する。